

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 19 日 (2006.10.19)

【公開番号】特開 2005-146204 (P2005-146204A)

【公開日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【年通号数】公開・登録公報 2005-022

【出願番号】特願 2003-389143 (P2003-389143)

【国際特許分類】

C 0 9 D 167/00 (2006.01)

C 0 9 D 5/03 (2006.01)

C 0 9 D 163/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 167/00

C 0 9 D 5/03

C 0 9 D 163/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 6 日 (2006.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カルボキシル基及び / 又は水酸基を有するポリエステル樹脂 (A)、アミン変性エポキシ樹脂 (B)、及び、前記カルボキシル基及び / 又は水酸基を有するポリエステル樹脂 (A) と反応しうる官能基を有する硬化剤 (C) を含有してなる粉体塗料組成物。

【請求項 2】

前記アミン変性エポキシ樹脂 (B) が、エポキシ当量 170 ~ 1300 g / eq のエポキシ樹脂とアミン化合物を反応させて得られるアミン変性エポキシ樹脂である請求項 1 に記載の粉体塗料組成物。

【請求項 3】

前記アミン変性エポキシ樹脂 (B) が、エポキシ樹脂と 2 級アルカノールアミン類を反応させて得られるアミン変性エポキシ樹脂である請求項 1 に記載の粉体塗料組成物。

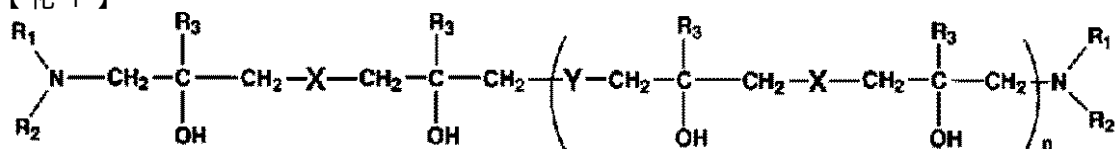
【請求項 4】

前記アミン変性エポキシ樹脂 (B) が、数平均分子量 900 ~ 2000、エポキシ当量 8000 以上のアミン変性エポキシ樹脂である請求項 1 に記載の粉体塗料組成物。

【請求項 5】

前記アミン変性エポキシ樹脂 (B) が、一般式 (1) で表される樹脂である請求項 1 に記載の粉体塗料組成物。

【化 1】

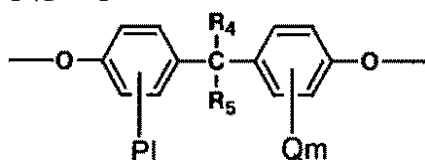


・・・一般式 (1)

(R₁、R₂ はそれぞれ水素原子、炭素数 1 ~ 18 のアルキル基又は炭素数 1 ~ 4 のヒドロキシルアルキル基。R₃ は水素原子又はメチル基。X は一般式 (2) ~ (5) で示される

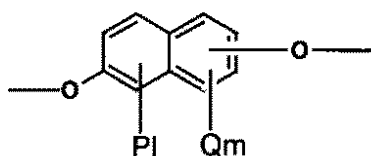
構造。YはXと同一又は一般式(6)で示される構造。)

【化2】



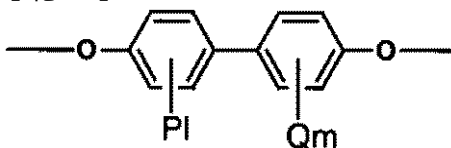
・・・一般式(2)

【化3】



・・・一般式(3)

【化4】



・・・一般式(4)

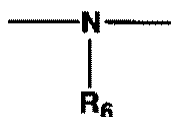
【化5】



・・・一般式(5)

(R_4 、 R_5 はそれぞれ水素原子、炭素数1～9のアルキル基、フェニル基又はカルボキシル基。 P 、 Q はそれぞれ炭素数1～9のアルキル基又はハロゲン、 $l = 0 \sim 2$ 、 $m = 0 \sim 2$ 。)

【化6】



・・・一般式(6)

(R_6 は水素原子、炭素数1～18のアルキル基、炭素数1～4のヒドロキシアルキル基又はフェニル基。)

【請求項6】

請求項1～5のいずれか一項に記載の粉体塗料組成物を塗装して得られることを特徴とする被塗物。